

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	令和4年度第2回西脇市障害者地域支援協議会
開催日時	令和5年3月29日（水）午後1時30分～午後3時
開催場所	西脇市役所 市議会委員会室
出席委員の氏名又は人数（敬称略）	朝比奈寛正、南久雄、吉田昇、岡本英子、坂田加代子、永井寿幸、多田由紀子、百田雅樹、鈴木恒男、川崎佳子
欠席委員の氏名又は人数（敬称略）	時本あさみ、高瀬利明、長尾芳明、森一人、清川尚
出席職員の職・氏名又は人数	福祉部 部長 伊藤景香 社会福祉課 主査 村上真弓 社会福祉課 主任 藤田亜依子 障害者基幹相談支援センターういーぶねっと 藤井志帆 障害者相談支援センター「ぱれっと」 田島佳奈子 計画策定委託事業所 株式会社ジャパンインターナショナル総合研究所 熊本 晴彦
傍聴の人数	3人
協議又は協議事項	協議事項・報告事項 1 第6期西脇市障害福祉計画・第2期西脇市障害児福祉計画の進捗状況について 2 西脇市障害者福祉に関するアンケート調査結果（速報）について 3 令和4年度西脇市障害者基幹相談支援センターういーぶねっと事業報告について
会議の記録	
発言者	内 容
事務局	1 開会 ・委員の出席は10名、傍聴は3名 ・部長あいさつ ・資料確認
各委員 会 長	2 委員紹介 ・各委員の自己紹介 ・朝比奈会長あいさつ ・議事録署名者を決定

事務局	3 協議事項・報告事項
会 長	第6期西脇市障害福祉計画・第2期西脇市障害児福祉計画の進捗状況について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(1) 第6期西脇市障害福祉計画・第2期西脇市障害児福祉計画の進捗状況について説明 報告事項に関する質疑、意見等はなし。
会 長	(2) 西脇市障害者福祉に関するアンケート調査結果（速報）について、事務局から説明をお願いします。
事務局	(2) 西脇市障害者福祉に関するアンケート調査結果（速報）について説明
副会長	13ページの介護者が困っていることについては、「特にない」という回答が出てくるが、本当にはないのか、頑張っているのではないのか、が分からない。特に頑張っている介護者の方は、こういう質問をすれば「ない」という答えることが多く、もう少し突っ込んで聞けば何かある。「特にない」の回答が多いから、これでいいとの考えは外した方がよい。 また、手帳別で就業とかの面で細かく分析をすると、療育手帳では、重度、中度、軽度があり、身体障害者手帳でも1級、2級、3級などがある。障害別の大雑把な分析でなく、母数的としては少なくなるが、障害の程度に応じた分析ができればうれしい。 事業については、すべての事業所が西脇市にあるわけではないので、北播磨全域で取り組んでいかなければならない。行政は大変だと思うが、西脇市と北播磨全域とリンクした取組みをお願いしたい。
委 員	当事者としては「特にない」という回答は違うと思う。実際はかなりきつく、特に親はきついと感じている。
会 長	集計はどこにクロスしていくかの問題だと思う。主な介護者は特に困ったことはないと回答しているが、日常生活の悩みや不安をみると、主な介護者がいなくなった時のことが上位にあげられている。

	<p>今は大丈夫だけど、介護者（家族）がいなくなった時は分からない。今まであった親亡き後の問題、これがずっと継続されていると読み取ることもできる。あとは項目のどこをクロスしていくか、どこがそう考えるかが見えてくると、さらに詳細なデータが分かってくる。</p> <p>他に意見はないか。</p>
<p>委員</p>	<p>就労について、働いていない人が本当はどういう気持ちなのか。働ける場があればいいのか、環境が良ければ働けるのか、働く意思がないのかがわからない。働いていない人が多くいるという事実は分かるが、内情はどうなっているのか、このデータでは読み取れない。また、企業側は、どういう人なら採用する気があるのか。相手側の調査もいるのではないか。</p>
<p>副会長</p>	<p>企業側の話だが、生産性を重視するところは難しい。ここまではできると考え、企業努力で採用している事業所もある。国は障害者の雇用に対して助成を出すと言っているが、国の機関である省庁の雇用率は低く、批判もあり企業に強制するのは難しい。こちら側からアドバイスして、この仕事ならこの人はできるなどのアピールも必要なのではないか。また、重度の人は働きたくても働けない人もいるが、頑張っている人もあり、一概には判断できないと思う。</p>
<p>事務局</p>	<p>詳細の集計まではできていないが、単純集計での就労の有無以外に、就労の希望についてのアンケートはとっている。全体集計では、就職したいが諦めているが28%、就職したいと思っていないが32%、具体的な理由までは聞き取りができていない。その他の部分の回答で理由を分析したいと思う。</p> <p>また、就労活動をする上での課題については、体力的・精神的に不安があるが63%、採用側に障害者についての情報がないが28%、自分の時間に合う求人が少ないが19%で、障害者が求める環境とのマッチングが難しい現状がみてとれる。</p> <p>集計に関して設問は18歳以上で50数問、18歳未満で40数問あり、単純集計だけで60ページを超えている。これに手帳別などの集計を加えると100ページを超える報告書になると思われる。また、クロス集計に関しては、母数が少なくなると数値としての信頼性が低くなる。ただ、細かくクロス集計をとることはできるので、必要な箇所をあげてもらえば対応は可能。数値は参考値としてみてほしい。</p>

会 長	今回のアンケート調査では、自由回答は設けていなかったのか。
事務局	自由回答は2か所ある。一つは差別についての経験、最後に全体に対する意見。
会 長	(3) 令和4年度西脇市障害者基幹相談支援センターういーぶねっと事業報告について、西脇市基幹相談支援センターういーぶねっとから説明をお願いします。
委 員	(3) 令和4年度西脇市障害者基幹相談支援センターういーぶねっと事業報告 報告事項に関する質疑・意見なし
会 長	障害者相談支援センター「ぱれっと」から、連携して取り組んでいることについて等ご意見があればお願いします。
委 員	藤井委員から報告があったように、各種連絡会、企画運営進行等においてお世話になっている。市内事業者の皆さんと顔の見える関係が築けており、困ったときに相談しやすい関係が出来てきていると感じている。また、困難な個別のケースについても、ういーぶねっとに相談しやすく、一相談員としても心強い存在で、助けてもらっている。「ぱれっと」としては、委託を受けている立場なので、これからも相談しながら取り組んでいきたい。
会 長	基幹相談支援センターの設置は、2023年度からは全市町村が努力義務になる。兵庫県内で基幹相談支援センターを持っていない市町村は半分ぐらいあり、西脇市の基幹相談支援の内容が、他の市町村のモデルになっていければいいと思う。来年度も地域の支援体制の強化に向けてお願いします。 以上をもって、本日予定していた協議事項は終了とする。
事務局	4 来年度の予定について 協議会の開催及び内容について（案）説明
会 長	最後に閉会のあいさつを副会長からお願いします。

副会長	障害者の支援として、身体障害者、知的障害者、精神障害者と個性の違う3つの障害を一括にまとめて地域で進めていくことを考えるのは大変難しい。これら3つの支援体制をリンクさせ、それぞれのネットワークを重ねて作っていかなければならない。皆さんから意見を出してもらい、良い施策ができるようにお願いします。
事務局	では、これをもって令和4年度第2回西脇市障害者地域支援協議会を終了とする。